

令和8年度入学生用カリキュラムマップ

【文学研究科 教育学専攻】

| 科目番号 | 科目名 | 学年 | 科目目的 | 到達目標 | 専攻（課程別）ディプロマ・ポリシーの分類（項目） | | | | | | | | |
|------------|---------|----|--|--|---|---|----|---|---|----|---|---|--|
| | | | | | ◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目 | | | | | | | | |
| | | | | | 知識 | | 姿勢 | | | 行動 | | | |
| | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | |
| 26MEDU1111 | 教育学研究総論 | 1 | 教育学・保育学が組み入れられている歴史的・社会的文脈、学問的文脈から教育・保育を捉え、その現代的課題について述べ、それを位置づけるための〈全体的マップ〉を提供する。 | 修士課程の学修にふさわしい教育学・保育学に関する理論的土台を身につける。 | ◎ | ◎ | ○ | | | ○ | | | |
| 26MEDU1112 | 教育学研究特論 | 1 | 学校教育や幼児教育・保育を中心に教育学の様々な問題をめぐって先行研究となる文献を読解し、自らの研究ノート・計画などを省察することを通じて、研究を進めるために必要な基礎的知識・技法を習得する。 | ①研究論文・著作などを読んでその内容を理解し、概要や要点を説明することができる。 ②教育の発展に向けて問いを立て、検討課題について説明することができる。 ③形式と内容について考慮した発表資料を作成し、適切な方法で報告・合評することができる。 | | ◎ | ◎ | | | ○ | | | |
| 26MEDU1121 | 教育学特別研究 | 1 | 教育学・保育学の役割を理解しつつ、自らの問題関心を意識化し、課題を見つけ、その課題の領域の先行研究を探し、研究方法について検討する。 | 問題の発見、問題の設定、研究方法の確定、研究の遂行、論文の執筆などについて具体的に現実的な計画を立てることができる。 | ○ | ◎ | | ◎ | | ○ | | ◎ | |
| 26MEDU1122 | 課題研究Ⅰ | 1 | 子どもと学校・教育施設をめぐる教育事象の中から問題を発見し、問いを立て、それについて調査し、自らの研究課題と研究方法を確定する。 | ①研究対象を適切に選ぶことができる。 ②研究対象の今日的な意義を理解し、それを文章化することができる。 ③他者の論文に対して、教育学的観点からコメントを加えることができる。 | | ◎ | | ◎ | | ○ | | | |
| 26MEDU2121 | 課題研究Ⅱ | 2 | 「課題研究Ⅰ」で得た知識と理解をさらに深化させつつ、自らの問題関心や研究内容を客観的に論述する技法を習得する。 | ①先行研究を精査する能力を育てる。 ②調査データや研究対象を適切に分析し、考察することができる。 ③合理的で客観的な内容の文章が書ける。 | | ◎ | | | ◎ | ○ | ◎ | | |
| 26MEDU2122 | 課題研究Ⅲ | 2 | 内容構成、論述展開など、アカデミック・ライティングの技法に習熟し、オリジナリティある修士論文の完成に向けた知識と技法を獲得する。 | ①修士論文執筆スケジュールを順守し、真摯に自らの課題に向き合うことができる。 ②内容構成を吟味し、主体的に修士論文を完成させる意志を有している。 ③論理的な考察を取り入れた、独創性のある論文を完成させることができる。 | | ◎ | | | ◎ | ○ | ◎ | | |
| 26MEDU1211 | 教育調査法Ⅰ | 1 | 教育学に必要な実証的データの取り扱いに習熟することを目的とする。 後期に開講される「教育調査法Ⅱ」の基礎となる、測定値の特性・分布と代表値・散布度・正規分布・母集団と標本分布・統計的仮説検定の概念・平均値の比較・分散分析の初歩、まで理解できるようにする。 | ①測定値の特性・分布を理解する。 ②代表値・散布度・正規分布・母集団などの概念を理解する。 ③標本分布・統計的仮説検定の概念を理解する。 ④平均値の比較・分散分析を行うことができる。 | | ○ | | | | ◎ | | | |

| 科目番号 | 科目名 | 学年 | 科目目的 | 到達目標 | 専攻（課程別）ディプロマ・ポリシーの分類（項目） | | | | | | | | |
|------------|---------|----|---|--|---|---|----|---|---|----|---|---|--|
| | | | | | ◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目 | | | | | | | | |
| | | | | | 知識 | | 姿勢 | | | 行動 | | | |
| | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | |
| 26MEDU1212 | 教育調査法Ⅱ | 1 | 教育学研究にとって必要な知識および技法を身につけることが本研究の目的である。特に修士論文研究に用いることのできる、ノンパラメトリック統計、相関係数、簡単な因子分析ができるようになる。 | 実際に自分で調査・実験等のデータを分析できて、学会論文での発表ができる程度の力を身につける。 | | ○ | | | | ◎ | | | |
| 26MEDU1281 | 学術英語Ⅰ | 1 | 学術調査・研究に必要な英語文献の検索方法ならびに英語論文の読解方法を学ぶ。 | ①学術調査・研究に必要な英語文献の検索方法を理解する。 ②英語論文の効果的な読解方法を身につける。 ③読解した英語論文を自分自身の文献調査に役立てる方法を身につける。 | ◎ | ○ | | | | | | | |
| 26MEDU1282 | 学術英語Ⅱ | 1 | 「学術英語Ⅰ」の目的に加えて、英文要旨の書き方を理解し、英語での口頭発表をするための能力を身につける。 | ①学術調査・研究に必要な英語文献の検索、活用ならびに読解ができる。 ②英文要旨を書くことができる。 ③英語で口頭発表をすることができる。 | ◎ | ○ | | | | | | | |
| 26MEDU1331 | 教育哲学特論 | 1 | 教育に関する哲学・思想の内容と特徴およびその社会的・歴史的な文脈を理解し、それぞれの教育哲学・教育思想の意義や限界について考察する。 | ①教育に関する重要な基本理念や基礎概念について理解する。 ②教育の基本理念や基礎概念、教育をめぐる問題がどのような社会的・歴史的な背景から生まれたのかを理解する。 ③自らの教育観を批判的に省察し、学んだ理念や概念を用いて今日の学校・教育について分析・考察する。 | | ◎ | | | | | | ○ | |
| 26MEDU1332 | 教育哲学演習 | 1 | 教育の哲学・思想に関連する国内外の文献の講読を通じて、教育の基本理念について理解を深めるとともに、自らの研究の深化を図る。 | ①研究論文・著書を読解し、正確に理解することができる。 ②研究論文・著書に対して自分なりの考察を加えることができる。 ③研究論文・著書を読解と考察を通じて、自らの見解を深めることができる。 | | ◎ | | | | | | ○ | |
| 26MEDU1341 | 教育人間学特論 | 1 | 教育人間学に関する知識を理解し、子どもの成長発達過程において生じる様々な問題を教育人間学の視座から捉え直す。 | ①人間の生全般に関わる視点から、子どもの体験や教育という営みを、捉え直すことができる。 ②子どもの成長発達に関わる教育者の役割を探究することができる。 | | ◎ | | ○ | | | | | |
| 26MEDU1342 | 教育人間学演習 | 1 | 教育という営みや子どもの体験に関する問題を教育人間学の観点から捉え、自分なりの課題意識と着想をもって探索を進めるための基礎を養う。 | ①教育という営みや子どもの体験に関する問題を教育人間学の観点から捉えることができる。 ②上記の問題に関して自分なりの課題意識と着想をもって探索を進めることができる。 | | ◎ | | ○ | | | | | |
| 26MEDU1351 | 教育心理学特論 | 1 | 幼児・児童の心身の発達や教授法などを含む教育心理学の知識と、知識を支える方法論、知識から実践への応用を学ぶ。 | ①幼児・児童の心身の発達について基礎的知識を説明できる。 ②幼児・児童への教授法を心理学的概念を用いて説明できる。 | | ○ | ◎ | | | | | | |

| 科目番号 | 科目名 | 学年 | 科目目的 | 到達目標 | 専攻（課程別）ディプロマ・ポリシーの分類（項目） | | | | | | | | |
|------------|---------|----|--|--|---|-------------------|--------------|-----------------|----------------------|---------------|----------------|----------------|---|
| | | | | | ◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目 | | | | | | | | |
| | | | | | 1. 多様な社会を理解する力 | 2. “生き残る”につながる専門性 | 3. 自他を尊重する姿勢 | 4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢 | 5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢 | 6. 論理的に考え伝える力 | 7. 新たな価値を創造する力 | 8. 多様な人々と協働する力 | |
| | | | | | 知識 | | 姿勢 | | | 行動 | | | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | | | | | | |
| 26MEDU1352 | 教育心理学演習 | 1 | 現代の教育における心理学的問題に関して現状を把握し、将来的な展望を得るために実地調査を行う能力を高める。 | ①現代の教育における心理学的問題に関して、新たな情報を収集する計画を立てることができる。 ②実際にデータを収集・分析し、将来的な展望につなげることができる。 | | ◎ | | ○ | | | | | |
| 26MEDU1431 | 教育方法学特論 | 1 | 古典的な教育方法の理論についての理解を深めるとともに、学力論、学習論、授業設計、評価の理論、教材・学習具や学習環境、情報メディアやテクノロジーなどの多様な観点から、教授と学習についての理解と考察を深め、研究や実践への応用につながる知識と技能を習得する。 | 教育方法学の諸理論、今日的課題、教育方法学研究の動向について、自分自身の問題意識と関連させながらひとつひとつの説明ができるようになる。 | | ◎ | | | | ○ | | | |
| 26MEDU1432 | 教育方法学演習 | 1 | 教育実践を対象とした文献を参考にしながら、学力、授業設計、評価、教材・学習具や学習環境、学習に用いられるメディアやテクノロジー等にかかわる今日的課題について協議し、教育方法学の研究、とりわけ、教育工学研究の意義と方法論について学ぶ。 | 教育実践の今日的課題について文献を収集し、考察し、教育方法学、とりわけ、教育工学研究の意義と方法論についての知見を得る。 | | ◎ | | | | ○ | | | |
| 26MEDU1441 | 授業研究特論 | 1 | 授業理論、授業設計、教材開発、授業分析の理論的背景を理解し、授業研究の理論と実践をつなぐ。 | ①我が国の授業理論、授業設計、教材開発、授業分析の理論的背景を理解する。 ②逆向き設計論に基づいた単元設計を行うことができる。 | | ◎ | | | | ○ | | | |
| 26MEDU1442 | 授業研究演習 | 1 | 児童・生徒の学力を保証する授業実践における高度な指導技術を身につける。 | 実践的研究論文をもとにした授業改善に関する理論の理解、授業設計、実施、分析を通して高度な実践力指導力を培うことができる。 | | ◎ | | | | | | | ○ |
| 26MEDU1451 | 教育経営学特論 | 1 | 教育の事象を理解するうえで必要となる教育経営学の諸問題について、実際の問題解決への展望をもつ。 | 教育経営学に関する知識・理解を、現実の教育の諸問題の解決に活かすことができる。 | | ◎ | | | | ○ | | | |
| 26MEDU1452 | 教育経営学演習 | 1 | 教育の事象を理解するうえで必要となる教育経営学の諸問題について、実際に検討することをおして理解を得る。 | 教育経営学に関する知識・理解を、現実の教育の事象についての解釈に活かすことができる。 | | ◎ | | | | | | | ○ |
| 26MEDU1461 | 国際教育特論 | 1 | 国際教育の動向と教育のグローバル化の現状について把握し、公教育に及ぼす課題や問題点について議論する。さらに、教育政策や施策における国際教育への取組みとグローバル化への対応を概観する。 | ①国際教育の動向と、教育のグローバル化について整理し、理解を図る。 ②公教育における、教育のグローバル化の影響について指摘することができる。 ③教育政策における国際教育に対する取組みと、教育のグローバル化への対応を把握する。 | | ◎ | ○ | | | | | | |
| 26MEDU1462 | 国際教育演習 | 1 | アメリカ合衆国を事例として、教育機会の保障をめぐる議論や取組みについて検討を行う。特に、公民権運動以降の公教育制度を取り上げ、学区制度からマグネットスクール、チャータースクールへの成立に沿って学校選択制の是非を問い、日本国内への教育的「教訓」とする。 | ①教育機会の保障の原則について、その重要性と付随する課題について理解する。 ②教育機会の保障をめぐる議論と、実際の政策や取組みについて把握する。 ③学校選択制の是非と、日本への教訓とはなにか議論する。 | | ◎ | ○ | | | | | | |

| 科目番号 | 科目名 | 学年 | 科目目的 | 到達目標 | 専攻（課程別）ディプロマ・ポリシーの分類（項目） | | | | | | | | |
|------------|--------|----|---|--|---|-------------------|--------------|-----------------|----------------------|---------------|----------------|----------------|--|
| | | | | | ◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 / ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目 | | | | | | | | |
| | | | | | 1. 多様な社会を理解する力 | 2. “生き残る”につながる専門性 | 3. 自他を尊重する姿勢 | 4. 失敗を恐れず挑戦する姿勢 | 5. 逆境や困難に対応するしなやかな姿勢 | 6. 論理的に考え伝える力 | 7. 新たな価値を創造する力 | 8. 多様な人々と協働する力 | |
| | | | | | 知識 | | 姿勢 | | | 行動 | | | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | | | | | | |
| 26MEDU1531 | こども学特論 | 1 | こどもおよび子育てにかかわる事象について理解する。たとえば基本的な生活習慣形成などのしつけの方策などについてとりあげる。そこでは、こどもの種々の行動的特徴とともに習慣形成の方策やそのつまづきについて理解する。加えて親子関係や価値意識・倫理観形成の機序などについても探究する。 | こどもおよび子育てにかかわる事象について理解する。 | | ◎ | | | | ○ | | | |
| 26MEDU1532 | こども学演習 | 1 | こどもにかかわることがら、たとえば基本的な生活習慣、子育てと愛着性の形成など親子関係の成立、価値の形成と転換などにかかわる先行研究などの文献等を参考にしながら、こどもにかかわる種々の研究動向をみながらの研究の方策について理解してゆく。 | こどもおよび子育てにかかわる種々の研究動向をみながらの研究の方策について理解してゆく。 | | ◎ | | | | ○ | | | |
| 26MEDU1541 | 保育学特論 | 1 | 保育に関する理論、保育所保育指針や幼稚園教育要領に示される内容とその背景を学び、それについて吟味することを中心に展開する。さらに、保育学の研究方法を概観し、それについて学ぶ。これらを通して、保育に対する総合的で高度な専門的知識と教育研究能力を育成することを目的とする。 | ①保育所保育および幼稚園教育の理念および原則を理解する。 ②保育内容のねらい、内容、指導法の理解を深める。 ③保育の評価について理解する。 ④保育所および幼稚園などの保育施設における保育の現状と課題を把握する。 ⑤保育学の研究方法について理解する。 | | ◎ | | | | ○ | | | |
| 26MEDU1542 | 保育学演習 | 1 | 「育てる-育てられる」保育という営みや、環境としての保育者、こどもの成長と発達過程について総合的で高度な専門的知識と共に、保育の今日的課題について協議し、保育実践研究の意義と方法論について学ぶ。 | ①保育の今日的課題について資料を収集し、考察し、保育実践研究の意義と方法論についての知見を持つ。 ②保育の今日的課題について自分なりの意見を持ち、保育実践研究に対する意欲を高める。 | | ◎ | | | | ○ | | ○ | |
| 26MEDU1551 | 幼児発達特論 | 1 | 幼児の発達に関する専門的理解を深め、豊かな心とからだを育てるための保育の諸課題を考える。特に身体表現活動に焦点をあてながら、幼児の発達、保育の実践と理論について学ぶ。 | 保育に関する知識理解、論理的思考力、保育者としての指導力・研究推進力を身につける。 | | ◎ | ○ | | | | | | |
| 26MEDU1552 | 幼児発達演習 | 1 | 幼児の発達に関する専門的理解を深め、豊かな心とからだを育てるための保育の諸課題を考える。特に身体運動の側面から、幼児の発達、保育の実践と理論について学ぶ。 | 保育に関する知識理解、論理的思考力、保育者としての指導力・研究推進力を身につける。 | | ◎ | | | | ○ | | | |